WELFARE FOR THE BLIND
愛盲
1972・3

2.22

名古屋市中川区石場町四ノ三三
小谷剛
三二一—一七七〇
454-□□

1

ご本、気に入っていただいたようで何よりです。
それは好評のようですのでうれしく思います。
朝日、毎日といったところは、コネを通じて極力
に運動しないと、新人の書評をのせてもらうこ
とはむずかしいと思います。
ところで、あなたのお礼をしたいという申し入れ、いろ
いろ考えてみました。同人として、お礼まで受取っ
ては、という気もしますが、赤座憲久の「作家」
では従来から多くの人に、いろいろな形でカンパ
も受けていますので、何らかの形でありがた
くお受けすべきだと思いました。
ただ「日本人妻」の広告の件ですが、それを
「作家」の表紙の2（又は次のページ）に一ページ
広告として掲載するのには問題があるのです。
ということは、有料にしろ、他の同人とのかねあい、
具体的にいうと、亀山さん、近藤氏の出版物
を、そうした扱いにしたことがない、ということや、

里

と

て

し

ことも

は

私

ぐ

ら

雑誌に売るつもりはなく　私[illegible]好き

[illegible]部が[illegible]集めて包[illegible]とする[illegible]来で。